

平成31年(2019年)3月5日(火曜日)



地元で栽培した米を試食する参加者＝三島市内

源兵衛川で栽培
水稲4種を試食

三島ブランド化へ

三島市のNPO法人
グラウンドワーク三島
は4日、源兵衛川の清
流で栽培、収穫した水
稲4種類の試食会を同
市内で開いた。日本た
ばこ産業(JTI)の協
力を得た取り組みで、
将来的な地域ブランド
化を目指す。

水稲はJT植物イノ
ベーションセンター
(磐田市)が過去に開
発、品種登録したもの
の、その後の事業廃止

により登録抹消した
「いわた5号」「いわ
た8号」などの提供を
受けた。

中郷地区の水田で昨
年6月に田植えし、10
月に収穫した。猛暑だ
ったが生育は順調で、
この日、美しい白米と
なって配膳された。

参加者は6項目で評
価付けを実施。どれも
香り高く、味も上々で
「甲乙付けがたい」と
顔をほころばせた。

同法人の渡辺豊博専
務理事は源兵衛川が世
界水遺産に認定された
清流であり、栽培は耕

作放棄地の解消につな
がる可能性を踏まえ、
「付加価値は高い。世
界一おいしい地域米と
なれるはず」と胸を張
った。